

令和7年度 基本方針

課 名	教育総務課		
職・作成者	課 長	近藤 芳生	
	課長補佐	武石 明彦	

1. 本年度の目標

- 1 「子育てするならやっぱり見附」となるような教育環境の推進を図ります。
- 2 安全安心で快適に学習できる学校施設の整備に取り組みます。
- 3 安全安心な学校給食の提供と、学校給食費の公会計化の構築を行います。
- 4 適切な進捗管理を行い、チームとして業務を遂行します。

2. 目標達成の課題

- 1 少子化時代の今後目指すべき教育環境（具体的な小中学校の適正配置）の方針について策定が必要です。
- 2 施設の老朽化に対する計画的な修繕や調査点検に関する計画の見直しと適切な予算管理と財源確保が必要です。
- 3 (1) 安全安心とコスト削減を両立した給食センターの運営が必要です。
(2) 給食費徴収の公会計化の仕組みづくりによる教職員の負担軽減が必要です。
- 4 困難度の高い事業の実施予定が多いため、職員全体の協力と計画に沿った進捗管理が必要です。

3. 重点施策

- 1 R6年度の「学校配置等検討委員会」による答申を受け、保護者等の意向も踏まえた「市立小中学校適正配置等計画」を策定します。この配置計画と連携した学校施設長寿命化計画等の施設整備のあり方の見直しを進めます。
- 2 (1)学校施設長寿命化計画に基づき、名木野小長寿命化改良工事（体育館）を確実に発注し、継続工事と併せて適切な管理を行い、年度内での竣工を目指します。また、各校においても安全・安心な教育環境を維持できるよう施設管理を行うとともに、財源となる国費等の確保に努めます。
(2)文科省が推進する非構造部材調査や施設点検指摘箇所などの重点的対応により、安全安心な教育環境を目指します。
- 3 (1)給食センター有効活用における衛生管理を徹底し、給食調理業務の円滑な運営と両立します。学校施設の長寿命化改良工事に伴い必要な学校給食の提供体制の調整を図ります。
(2)国の示す学校給食費公会計導入に関するガイドラインや先進事例等を参考に、業務の適正化や運用の効率化を考慮した公会計化の手法の導入を進めます。
- 4 適切な業務分担と職員間の協力体制をつくり、チームとして業務に取り組みながらきめ細かな進捗管理を行います。

※ 記載は簡潔をお願いします。